

1. 事務事業の目的・概要

|          |              |      |              |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 農産園芸課長 森上 浩平 | 電話番号 | 0852-22-5123 |
|----------|--------------|------|--------------|

|         |  |                             |  |
|---------|--|-----------------------------|--|
| 事務事業の名称 | 島根の「売れる米づくり」推進事業   |                             |  |
| 目的      | (1) 対象   | 農業協同組合等                     |  |
|         | (2) 意図   | 島根米の食味・品質のレベルアップを図り契約的取引を推進 |  |
| 事業概要    | JAしまね農業振興重点施策に基づき、カントリーエレベーター（CE）やライスセンター（RC）等へ、食味計や1.9mm選別網目を導入する、島根米販売強化のための体制整備を支援する。<br>(事業実施年度 平成27～29年度) |                             |  |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度                                   | 27年度 | 28年度  | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位   |   |
|----------|------|--------------------------------------|------|-------|------|------|------|------|---|
| 1        | 指標名  | 1.9mm選別網目導入施設割合                      | 目標値  | 36.0  | 40.0 |      |      | 施設   |   |
|          |      | 取組目標値                                |      |       |      |      |      |      |   |
|          | 式・定義 | 1.9mm選別網目導入施設数/JAしまね各地区本部CE・RC総数(累計) | 実績値  | 31.0  |      |      |      |      |   |
|          |      |                                      | 達成率  | -     | -    | -    | -    | -    | % |
| 2        | 指標名  | 主食用米の契約的取引率                          | 目標値  | 55.0  | 60.0 | 65.0 | 65.0 | 65.0 | % |
|          |      | 取組目標値                                |      |       |      |      |      |      |   |
|          | 式・定義 | 主食用米の播種前・収穫前・複数年契約比率                 | 実績値  | 56.0  |      |      |      |      |   |
|          |      |                                      | 達成率  | 101.9 | -    | -    | -    | -    | % |

3. 事業費

|            | 前年度実績 | 今年度計画 |
|------------|-------|-------|
| 事業費(b)(千円) | 2,704 | 9,600 |
| うち一般財源(千円) | 2,704 | 9,600 |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・平成27年度は、「石見銀山地区本部」、「島根おおち地区本部」をモデル地区と位置づけ推進を図った。結果的には前倒して年度内に「隠岐どうぜん地区本部」を除く全地区本部で1.9mm選別網目が導入された。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・事業を活用し、新規で1.9mm選別網目を導入した地区本部・施設  
 【くにびき】CE稲蔵、鹿島RC、南RC【やずぎ】利弘CE、広瀬CE、利弘RC、伯太RC  
 出雲：北部CE、西部CE【斐川】黒目CE【石見銀山】井田RC、大田RC、川合倉庫【島根おおち】大和RC、瑞穂RC、石見RC、川本RC、桜江RC【いわみ中央】金城RC、旭RC【西いわみ】六日市CE、匹見RC、美都RC  
 計 23施設  
 ・既導入地区本部・施設  
 【雲南】仁多郡CE、雲南市CE、飯南町CE、横田RC、大東RC、赤来RC、頓原RC【隠岐】隠岐の島RC  
 計 8施設  
 ・事業を活用し、新規で1.9mm選別網目を導入した組合等  
 石見銀山エコロジー米生産組合、島根おおちハープ米生産部会  
 ・事業を活用し、新規で食味計を導入した地区本部  
 石見銀山

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」  
 ・産地間競争を勝ち抜くため、残りのJA施設、JA生産部会等へできるだけ速やかに(H29年までに)全県へ波及させる

②困っている状況が発生している「原因」  
 ・1.9mm選別網目・食味計の導入効果が十分に説明できていない  
 ・1.9mm選別網目の導入により、歩留まり低下を懸念する声が依然としてある

③原因を解消するための「課題」  
 ・大粒化に向けた栽培技術の確立  
 ・1.9mm選別や食味計(タンパク含量)を活用したトップ商品づくり  
 ・1.9mm選別米の価格差の設定(JAしまねで導入する買取制度を含む)

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・歩留まり向上に向けた技術実証を図るとともに、1.9mm選別網目の導入効果を取りまとめ、生産者等への理解醸成を図りながら導入推進に取り組む。  
 ・1.9mm選別網目の導入により、島根米のレベルアップ及び他産地との差別化を図り、契約的取引の拡大を推進し有利販売に取り組む。

9. 追加評価(任意記載)

課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。